

第4学年 道徳科学習指導案

1 主題名 困っている人への思いやり（内容項目2－（2）思いやり・親切）

2 資料名 「スーパーの店先で」（出典 彩の国の道徳 「心の絆」）

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は内容項目2－（2）[思いやり・親切]は、「温かい心とともに、相手に対する思いやりの心を育てる」ことをねらいとしている。中学年では、相手の気持ちをより深く理解することができるようになるため、相手の現在の状況、困っていること、大変な思いをしていることなどを想像することによって相手のことを考え、親切な行為を自ら進んで行うことができるように指導していくことが求められる。第1学年及び2学年の「幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。」ことから、第5学年及び6学年の「だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。」中学校の「温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。」ことにつながっていく。

(2) 児童の実態について

（省略）

(3) 資料について

本資料は、主人公「ぼく」が震災の後、すぐに売り切れてしまうミネラルウォーターを買いに行ったスーパーで、親戚が津波の被害を受けたという男の人に会い、手にした2本のミネラルウォーターを差し出すという話である。恥ずかしくて募金もできなかった「ぼく」が少しでもたくさんの水を避難所の親戚に届けたいと真剣に店の人に頼んでいる男の人に心を打たれ、2本とも男の人に差し出す「ぼく」の行動を通して、相手を思いやる優しい気持ちが自分の心の中にあることを確かめ、他者に向けて積極的に実践していこうとする意欲を育てることができる資料である。

話し合いの視点として、次の3つの場面が考えられる。

①お母さんから募金を勧められたのにできなかった。

②ミネラルウォーターを買いに行った店先で、お店の人につめよっている男の人を見た。

③「ぼく」が男の人にミネラルウォーターを渡すと、男の人は何度も頭を下げて喜んでくれた。

それぞれの視点では、以下のことをおさえて指導にあたる。

①お母さんから募金を勧められたのにできなかったぼくの気持ちに共感させたい。

②困っている男の人を見たときのぼくの心の内を感じとらせたい。

③男の人を見送りながらぼくはどんな気持ちになったか考えさせたい。

本資料で、相手を思いやる優しい気持ちが自分の心の中にあることを確かめ、他者に向けて積極的に実践していこうとする意欲を育てることができる。と考える。

以上の理由で本主題を設定した。

4、研究テーマとの関わり

研究テーマ

「夢とこころざしをもち、まごころとおもいやりのある上柴っ子の育成」
～中学校区における学校間連携及び家庭・地域との連携による道徳教育の推進～

この研究テーマを具現化するために、次のような手だてを考えた。

(1) 授業研究部

心に響く道徳の授業をめざし、日々の授業実践や研究授業を通して検証を進める。

(2) 目指す児童像 中学年

主人公と自分の感じ方・生き方を比べ主人公の生き方に共感させれば、心豊かに生きる児童が育成できる。

(3) 本時の手立て

ア 導入の工夫

東日本大震災が起きた頃の身近な社会の様子を思い出せる写真などを提示し、資料に入りやすくする。

イ 発問の工夫

発問を精選し、子どもの心を動かし多様な考えを引き出すようにする。また、発問の前に場面を再現することによって、子どもたちに真剣に考えさせる。

ウ 話し合いの工夫

座席をコの字型にすることで、子ども相互に多様な考えを学び合い深め合えるようにする。さらにより発言が活性化され、言語活動の充実にもつながる。

エ 書く活動の工夫

自己を振り返る際、ワークシートに文章で表現することで、児童がじっくりと自己を見つめ考

えることができる。

オ 板書を生かす工夫

意識の流れがわかるような板書の工夫をする。本時では、徐々に気持ちがプラスになっていく様子ができるように児童の反応がだんだん高くなるよう板書していく。

5 他の教育活動との関連

教科領域	月	行事・学習内容	めあて・ねらい	児童の意識
特別活動	4月	4年生になって	・進級の喜びを味わうとともに、学級の一員としてのめあてと自覚をもった生活ができるようにする。	・新しい友達に優しくしたいな。 ・友達と仲良くしたいな。
学校行事	4月	1年生を迎える会	・1年生の仲間入りを祝い、あたたかく迎える。	・1年生にやさしくしよう。
国語	4月	やい、とかげ	・場面や人物の様子がわかる言葉を手がかりにして、「ぼく」の気持ちを想像する。	・ぼくととかげのように仲よしになりたいな。
道徳	5月	心の信号機	・困っている人のことを思いやり、進んで親切にしようとする気持ちを育てる。	・困っている人を助けたいな。
体育	6月	ベースボール型ゲーム (ティーボール)	・友達と協力して、練習やゲームをし、ゲームの勝敗を受け入れることができるようにする。	・友達が教えてくれたり、応援してくれたりするとうれしいな。
特別活動	6月	仲良くなるろう会をしよう	・さらに仲良くなるために、クラスで計画をたて、友達と一緒に活動する喜びを味わわせるようにする。	・このクラスでよかったな。友達と一緒にやると楽しいな。
社会	9月	レンガ工場と渋沢栄一	・渋沢栄一の立てたレンガ工場に関心を持ち、見学・調査、各種資料などをもとに調べ、郷土や日本の発展に尽くした渋沢栄一の業績や働きについて理解するとともに、地域の発展を願う気持ちをもつことができる。	・渋沢栄一は、レンガ工場を深谷につくり、日本の発展のために尽くしたんだ。 ・みんなが豊かになるために栄一は活動していたんだな。
道徳	9月	心と心のあく手	・相手の立場や気持ちを理解して、進んで親切にしようとする心情を育てる。	・相手の立場になって行動しよう。
国語	9月	一つの花	・時代の状況や場面の様子がわかる言葉をもとに、お父さんやお母さんの思いを考えながら読む。	・戦争で苦しい中、ゆみこを育てたお父さんとお母さんは立派で優しいなあ。
体育	9月	組み体操 (表現)	・友達と関わって、一つ一つの動作や技を完成させ、喜びを分かち合う。	・みんなで助け合っているものを作りたいな。
道徳	10月	温かい言葉	・相手の気持ちを尊重して行動することの大切さに気づき、新しい時代の温かい人間関係をつくっていかうとする心情を育てる。	・相手の気持ちを考えて行動できるようにしたいな。
学校行事	10月	運動会	・友達と仲良く活動したり、応援したりする。	・たくさん応援したいな。 ・みんなで力を合わせて優勝したいな。
体育	10月	ネット型ゲーム (プレルボール)	・互いに声を出し合い、協力してパスをつないでラリーになるように、またシュートを決めて喜びを味わえるようにする。	・声を出して、パスをつないで、プレルを楽しむぞ。
体育	12月	ゴール型ゲーム (サッカー)	・ルールや攻め方、守り方を知り、チームで簡単な作戦をたててゲームに取り組もうとする。	・どんな作戦なら勝てるかな。
国語	3月	夕鶴	・場面の変化に注意して、場面の様子や登場人物の気持ちの移り変わりを読み、感想をもつ。	・つうは自分のことより相手のことを思いやっているな。
学校行事	通年	なかよしタイム	・異年齢集団で活動することを通じて、学年や学級の異なる友達と交流する楽しさを味わわせる。	・6年生の言うことを聞いて、みんなで仲良く交流するぞ。

6 本時のねらい

相手の気持ちや立場を考えて、進んで親切にしようとする態度を育てる。

7 事前指導

「親切」に関するアンケート調査をすることで、児童の実態を把握し、本時の展開の中の自己を見つめる部分で意図的指名ができるようにしておく。

8 学習指導過程

段階	学習活動 ○主な発問	・予想される児童の反応	○指導上の留意点	☆評価	資料 時間
----	---------------	-------------	----------	-----	----------

導入	気づく	<p>1 東日本大震災の影響で、物が自由にお買えなくなった状況を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンスタンドに長い行列ができていたな。 ・買い物も制限されたな。 ・給食がパンと牛乳だけだったな。 ・計画停電があったな。 ・スーパーの棚が空のところがあったな。 ・売り切れや買える量の制限があったな。 	<p>○直接大きな被害を受けなかった場所でも水やガソリンなどが不足し、買い求める行列ができたことを知らせ、資料への感心を高める。</p>	3分
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 課 相手の立場を考えて行動するという事について考えよう。 </div>			
		<p>○たくさんの方が困っていた震災のすぐ後の頃の話です。</p>			
とらえる		<p>2 資料について知る。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>登場人物 ◎主人公 元気 ・お母さん ・男の人 ・店の人の始めの条件、状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災の後、買い物の帰りに募金ができなかった元気。 ・次の日曜日、一人 2 本買えるミネラルウォーターを急いで買いに行ったとき、親戚が津波の被害を受けたという男の人に会う。 </div>		場面絵 短冊 5分
		<p>3 資料の範読を聞く。 ○ぼくの気持ちを考えながら聞きましょう。</p>			
展		<p>4 資料を読んで話し合う。 ①お母さんから募金をすすめられたのに、募金ができなかったのは、ぼくのどんな気持ちからなのか考える。</p>			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○お母さんからすすめられたのに募金ができなかったぼくは、どんなことを思っていたのでしょうか。</p> </div>			
深める		<p>②困っている男の人を見た時のぼくの気持ちを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・募金をするべきだったと思うけど、できなかったことがはずかしいな。 ・勇気がなかったな。 ・皆から見られてははずかしい。 ・お母さんも一緒に募金してくれたらな。 ・やっぱり募金すればよかったな。 ・自信がなくて悲しい。 ・次の時には、募金しよう。 ・本当は募金したかったんだ。 ・知らない人だったから行けなかったんだ。 	<p>○募金をする事の恥ずかしさや戸惑いについて共感させる。</p>	29分
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎困っている男の人を見た「ぼく」は、どんなことを考えているのでしょうか。</p> </div>			
開		<p>補</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困っている男の人に対して、どう思いましたか。 ・手にした 2 本のミネラルウォーターをじっくり見つめながら何を考えていたと思いますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あの男の人は、必死だな。 ・被災地の人たちはとても困っているんだな。 ・店の人は、強いな。 ・男の人の願いはかなわなくてかわいそうだな。 ・ぼくにできることは何だろう。 ・ぼくの水をあげようかな。 	<p>○男の人と店の人のやりとりを教師二人で読み合い、場面の状況を理解しやすくする。そして、被災地の親戚に 1 本でも多くの水を届けたいという男の人の立場や気持ちや店の人の気持ちを考えさせ、葛藤する心をとらえさせる。</p> <p>○すべての人に公平に水を買ってもらおうとする店員の気持ちを考え</p>	

		<ul style="list-style-type: none"> ・あげたいけど、お母さんが待っているし、困ったな。 ・これがないとぼくの家にも水がなくて困るんだ。 ・どうしようかな。 ・話しかける勇気が出ないな。 ・よし、これをあの人にあげよう。 	<p>児童には称賛し受け止める。</p> <p>☆男の人の立場や気持ちを想像し、葛藤しているぼくの気持ちに共感できたか。</p> <p>○役割演技をし、ペットボトルを差し出すことができたぼくの気持ちをとらえさせる。</p> <p>☆相手の気持ちを考え、親切にできたぼくの気持ちをとらえることができたか。</p>	
		<p>○男の人を見送りながら、ぼくはどんなことを考えたでしょうか。</p>		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくの水をあげられてよかったな。 ・ぼくも、うれしいな。 ・お母さんも喜んでくれるだろうな。 ・ぼくも震災で困っている人の役に立ててよかった。 ・これからも勇気を出して人に親切にしよう。 ・あんなに喜んでくれるなんて、勇気を出して本当によかったな。 ・募金はできなかったけど、人のためになることができてよかったな。 	<p>○自分の気持ちを伝えられたことへの満足感とともに心が温かくなる心境を押さえる。</p> <p>☆「気持ちがほかほかとしてきた」ぼくの気持ちに共感できたか。</p>	ワークシート
見つめる	5 自己を見つめる。 ○相手の立場や気持ちを考えて、親切にできたことはありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人でいた友達に声をかけて一緒に遊んだ。 ・逆上がりが初めてできた友達と一緒に喜んだ。 ・こぼした習字の墨を一緒に拭いた。 	○生活の中で相手の気持ちを考えて、親切にしたときの気持ちを想起させ、思いやりの気持ちの大切さを実感させる。	5分
終末 あたためる	6 教師の話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えて、親切にしていこう。 	○自分の心の中にも思いやりの心があることに気づかせ、その気持ちを行動に移そうとする意欲を持たせるようにする。	3分

9 本時の評価の観点

(1) 児童サイドの評価 <発表・観察・ワークシート>

- ・主人公「ぼく」の気持ちになって共感的に考えることができたか。
- ・本当の思いやりや親切とは、相手の立場や気持ちを想像し、困っている人や苦しんでいる人の心を支えることであることに気づくことができたか。

(2) 教師サイドの評価

- ・児童のつぶやきを大切にし、児童の思考を深めることができたか。
- ・ねらいとする価値にせまるような発問を工夫することができたか。
- ・児童の考えを認め、称賛することができたか。

10 事後指導

- ・日常生活の中で、困っている人や苦しんでいるに対する態度について考え、どうすれば心に寄り添い、支えることができるのかを話し合うようにしていく。

ありがとう
ありがとう

お願いはかなわなかった
かたを落として

スーパー

お母さん
お母さんと言いい物に行くけど中
ほ金をしている人に出会うか
てきたかった。

一人でミオナルウォークを買
に行く。
一人二本

大きな声を出している七才い
くらの男の人を見る。

ほ金かてきたかった
はすかしい
なんでてきま
かたのたろう
こつうい
もつたいない

男の人
かわいそつ
やましい

店の人
田舎の人の気持ちか
わかっていない

元氣
ぼくの水をあげたか

差し出す

ほ金をして、いれは
今度はずるぞ
ぼくもつれい
気持ちがい
勇気を出してよかった

親切

行動につつま